



## 大地申第10号 「平成31年3月ダイヤ改正等について」に関する 宇都宮車掌区分会 申し入れ団体交渉開催！ 2月20日開催(議論要旨)

1、上野車掌区との列車持ち替えの経緯と効果を明らかにすること。

会社回答) 担当列車の見直しを行うことにより、休憩時間に相当する時間等を確保したところである。

組合：今改正の経緯や情報提供がない。乗務員が新規設定を周知されていない。

会社：今回の改正は一旦白紙にして考えたものである。周知は後程返していく。

組合：上野での乗務交代の設定はこれまでなかった。2時間40分も行先地時間がある。設定の根拠は？

会社：上野車掌区との持ち替えでこうなってしまった。

組合：非常に非効率だ。上野折り返しの設定とすべき！

会社：持ち替えの相手方も見ながら検討していく。

**情報提供や現場の意見を聞き  
 行路作成することを確認！**

2、夕方、夜間の上り快速列車削減の経緯と湘南新宿ライン古河行き設定の経緯を明らかにするとともに、旅客への周知についての考え方を明らかにすること。

会社回答) 列車ダイヤについては、お客さまのご利用状況等を勘案し設定しているところである。なお、必要な周知は行っていく考えである。

**【今後のプレス等に活用できるかを検討する！】**

会社：快速の件は、夕方の両毛線普通列車の廃止に伴う間隔調整で各駅停車とした。湘南新宿ラインの古河行きは下り列車の空いている時間帯の間隔調整として上野東京ラインと差し替えた。

組合：改正が1ヶ月を切っている。タブレットやパンフレットにも詳細の記載はない。列車本数が少ない線区であり、日常的に利用される方には重要な情報である。周知が足りていない。詳細事項も周知すべき！

会社：周知については社員にもお客さまにも行っていく。皆さんの意見を参考により良いものにしていく。

4、短時間勤務希望者がいないにもかかわらず、朝夕の短時間行路を設定した根拠を明らかにすること。

会社回答) 短時間行路については、多様な働き方と効率性を実現する目的で設定したところである。

会社：当務主務や指導担当、支社社員、育児・介護Aの方が利用するものであり、現時点で希望者がいなくても今後希望者が出てくると考えている。離職することがないように理解してもらいながら進めていきたい。

組合：今回設定された短時間勤務を利用したいという方は皆無である。朝夕の短時間行路が選択されない。会社の言う選択できる、多様な働き方の実現に逆行している。

会社：制度の説明をしっかりとやっていく。今頂いた意見も踏まえて1回で終わりではなく現場と話していく。

5、乗務員が集中し休憩出来ない実態があることから、東京駅9・10番線乗務員詰所や大宮駅11番線詰所の拡大・設備改善をおこなうこと。

6、小金井運転区他区乗務員詰所の改善をおこなうこと。また、旅客一斉情報装置を設置すること。

会社回答) 設備の整備等については、今後も必要に応じて検討していく考えである。

### 会社の認識

- ・大宮駅の11番線の件は声を聞いている。大宮運転区の管理なので投げかけていく。
- ・ソファの劣化は初めて聞いた。現場の声を聞いて改善できるか検討する。
- ・東京駅詰所はトイレの増設、ソファの改善、運転整理台の設置など行った。設備は他支社のものなので要請していく。
- ・小金井運転区他区詰所の拡大の計画はない。限られたスペースで備品を整理した。冷蔵庫のサイズ変更や貴重品ボックスをコンパクトにした。更に、レイアウト変更や椅子の改善を行った。
- ・トイレやたばこのにおいについては今後何が出来るか検討したい。

**働きがいを向上させるためにも、職場の声を集約していこう！！**